

# いなさの風

上野間小だより 2020年8月号

たかが「鉛筆の持ち方」、されど「鉛筆の持ち方」

校長 吉川 正美

近年、おかしい鉛筆（ペン）の持ち方をする子（大人でも）をよく見かけます。残念ながら本校でも各クラスにかなりの割合で鉛筆を正しく持てていない児童がいます。

昨年一度書きましたが、鉛筆にしろお箸にしろ、正しい持ち方というのは指先をきちんと使う合理的で機能性のある持ち方です。指先は、体の中で最も細かく繊細な動きのできる部分ですので、親指と人差し指の指先を中心とした正しい持ち方こそが、一番上手に書ける持ち方なのです。また、書きやすい持ち方は、字が上手に書けるだけでなく、書いていて疲れずに集中も長く続きますので学習効率も高まります。



書写教科書〈東京書籍〉より

きちんと持てていない子は、わざわざ書きにくい持ち方で苦労しながら書いている訳ですので、学習効率も悪くなります。そんな余計な苦労を背負い込む子どもはかわいそうです。

7月13日から全学年で正しく鉛筆を持てるようにしようという指導を始めました。「慣れた持ち方を直すのはかえって面倒だから嫌だ」と思うかもしれませんが、小学校では鉛筆は最も基本的な学習道具です。何とかみんなが正しく持てるようにしていきたいと思います。

しかしながら、現実には厳しく、これまで長くしてきた持ち方を変えるのは容易ではありません。言われたその場では直しても、たくさん書いているとまた元の持ち方になってしまうようです。高学年になるほど直すのが難しいのかもしれませんが、大人になってから「あなた、持ち方がおかしいよ」と言われ、恥ずかしい思いをしてから直すよりは、今直しておく方がずっと楽なはずですよ。学校でも粘り強く指導を続けていきますので、ご家庭でも、宿題をやっているときなどに少し気にかけていただき、鉛筆の持ち方を見てあげてください。ご協力をお願いします。

近年、おかしい鉛筆の持ち方をする子が増えたのは、子どもの鉛筆の持ち方に対する教師や親など大人たちの関心が下がっているからだと思われまます。鉛筆の持ち方がおかしくても、100点は取れるし、受験でも合格できます。成績・入試などに（面接にも）直接関わらないことは重視されないということでしょう。ひょっとしたら、ただの形式で合理的な意味はないと思われているのかもしれませんが、でも実際は、合理的で機能的で、正しく行えば人生を豊かにするということを、子どもたちにきちんと教えてあげるべきだと思います。鉛筆も箸も、あいさつ・返事や感謝の心も。

みはまの教育・合い言葉 「はぐくもう! 命あるもの 尊ぶ心」

## 8月・9月の予定

### <8月>

- 3日 通学団会
- 4~6日 個人懇談会
- 7日 1学期終業式  
給食最終
- 11~16日 学校閉校日
- 18~20日 ラジオ体操



※8月中は、毎日5時間授業で一斉下校を行います。下校時刻は14:10頃になります。

- 21日 2学期始業式  
給食開始
- 22日 PTA環境整備活動
- 24日 身体測定

### <9月>

- 4日 地震避難訓練
- 16日 学校公開日  
5年eネットキャラバン
- 25日 秋の交通安全街頭監視活動



### <8・9月の予定で中止になった行事>

資源回収、全校出校日、親子奉仕作業（PTAによる環境整備活動に変更）

6年生なまず号体験、学校訪問、6年生eネットキャラバン、5年生野外教育活動

### <8・9月の予定で延期となった行事>

ラジオ体操（18~20へ）、2学期始業式（8/21へ）、1・2年生交通安全教室（10/22へ）

## 校区探検【3年生】（6/23、7/2、3）

3年生が社会科「わたしたちの住んでいるところ」の学習で校区探検に行ってきました。6月23日（火）に西地区、7月2日（木）に緑苑地区、7月3日（金）に東地区を回りました。各地区を回って、特色ある地形や土地利用の特徴について観察・調査してきました。この後、調べたことを絵地図にまとめ、地区ごとの様子の違いについて考えていきます。



## 思い出のアルバム

同窓会事業として、歴代の卒業生全員の写真をレインボーホール壁面に掲示しました。本校が「美浜町立上野間小学校」の名称になってから昨年度まで（昭和35年度～令和元年度）が対象です。卒業アルバムから転載したのですが、一人一人の顔は十分に分かります。児童たちは、自分の両親や祖父母の姿を捜したり、当時の様子から時代の変化を感じたりするなど、興味津々で写真を見えています。保護者・地域の皆様で学校にお越しの際は、ぜひレインボーホールにお立ち寄りください。

